



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第22号

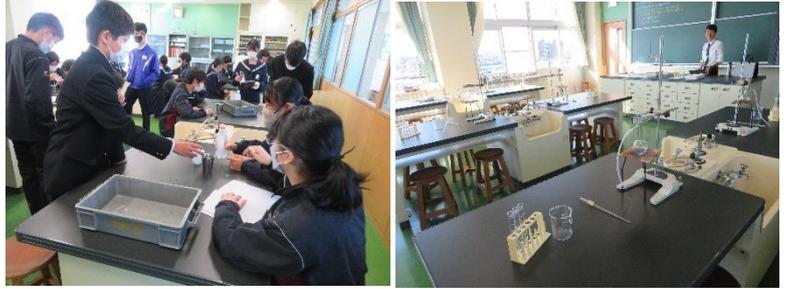
令和5年10月27日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 「授業づくり」に力を注ぐ

2週間前に学校祭が終わった学校は、すっかり落ち着いた雰囲気になり、季節外れのインフルエンザの流行を除いては、平穏な日々を過ごしています。こういった時に、先生方が何より力を入れるのが(当たり前のことですが)「授業づくり」になります。

先日、校舎内を歩いていると、第1理科室では2年生が授業で実験中、その隣の第2理科室では1年生が授業で行う実験の準備を先生がしていました。



先日から本校で授業をしてくださっている野田先生も、特別支援学級の英語の授業で生徒が興味・関心をもって学べる内容の工夫

をしたり、見て分かりやすいカード作成して黒板に掲示したりして、子どもたちに寄り添った取組をしていました。さらに、1年生の家庭科の授業では、コンビニで売られている身近な品を実際に持ってきて、「食品表示」に関する学習で盛り上がっていました。



2年生では、12月に実施をする「職場体験学習」に向けて、愛西市で特色ある農業をされている田島蓮園の方にお越しいただいたり、本校で力を入れて

いる「性教育」の一環として、市の保健士さんと「赤ちゃん」に来てもらって「いのちの授業」を実施したりもしました。



もちろん、ここには書ききれていない他の授業でも、それぞれの先生が学習内容と子どもたちの実態に合わせて「授業づくり」を工夫しています。ぜひ、先日から開始をした「学校公開」を活用していただき、お時間がある時に気軽に先生方や子どもたちががんばる様子を見に来ていただくと嬉しく思います。

♪ 「進路決定」に向かう中でも…

3年生は、火曜日の1限～5限を使って、「学力診断テスト」(実力テスト)を実施しました。今回のテストは、今後の進路相談を進める上で、各個人の学力の目安としての重要な参考資料となることから、普段の「実力テスト」という言い方ではなく、「学力診断テスト」という少し重みを感じてもらえる名称にして実施をしました。さらに今週の火曜～金曜の授業後には、本校の教員に加えて地域から8名の方にご協力をいただき、「面接練習」を実施しています。学校の教員だけでなく、普段は学校以外のお仕事をされている地域の方々からも広い視点からさまざまなアドバイスを聞くことができ、今後の進路決定に向けて貴重な学びができました。

また、今年度末に行われる高校入試では、公立高校の出願等の手続きがWebシステムで行われるように変更となることを受けて、県下の中学3年生全員を対象にした「Webシステム全県試行」を先週の木曜日から実施しています。今年度から運用開始となったシステムのため、生徒情報を登録するサーバーがつながりにくく、保護者の皆様にはかなりのご不便をおかけしているようですが、今回の試行で得られた反省を生かして、本番の出願手続きがスムーズに進むよう私たちも関係各所と連携を進めていきたいと思えます。

このように、3年生の生徒は進路決定に向けてさまざまな取組が本格化していく時期に突入していますが、こういった日々の中でも、仲間とともに過ごす時間の楽しさ・喜び、そして何より周りの人への感謝・思いやりを忘れずに過ごしつつ、それぞれの願いが実現していくことを学校みんなで応援していきたいと思えます。

